

長岡市・寺泊町合併協議会
第2回新市建設計画策定小委員会次第

日時：平成17年1月24日(月)

午後4時から

場所：長岡市役所第3委員会室

1 開 会

2 新市建設計画について

3 地域別整備・活動方針について

4 意見交換

寺泊地域の地域別整備・活動方針による新市のまちづくりについて

5 その他

6 閉 会

1. 新市の競争力

新市の都市競争力 :
新しい発想力やチャンスを支援する力

地域特性から生まれた匠の技と、新しい試みへの積極性から、新市独自の多様な力を発揮します

立地を活かした積極的な活動が行われています

新市における出荷額の推移では、一般的には減少しているものの、新潟市と比べると減少率は小さく、全国的な低迷の中で、企業努力が図られ健闘しているといえます。

特に、三島町、越路町、中之島町では、新潟県全般で減少する中において、出荷額が伸びています。事業所数の減少は、製造業における物流拠点の統廃合や工場生産の効率化等、近年の企業活動動向によるもので、一概に産業の不振を表すものではありません。

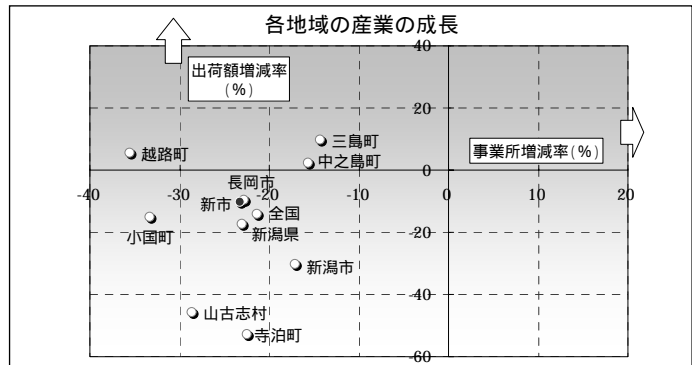
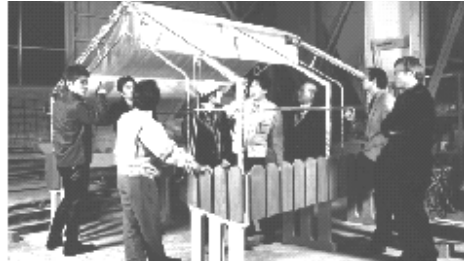
新市の製造業は多様性が高く、新たな産業分野への取り組みも活発に行われています

新市製造業の特徴としては、精密機械、一般機械、鉄鋼、家具・装備品、衣服などの多分野で特化状況が高く、多様性の高さが見て取れます。

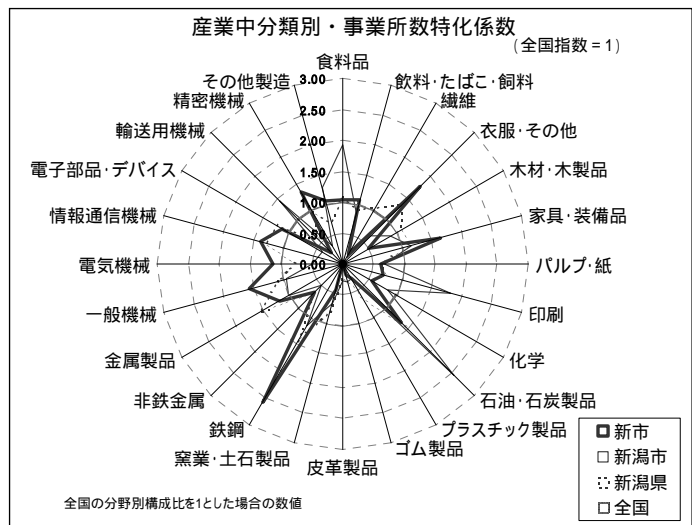
また、県内における従業者数のシェア（割合）が高く、雇用の受け皿が大きいことが分かります。

「長岡産業デザイン研究会」などの異業種交流会では、新製品の開発・研究に取り組んでいます。多様化するニーズへの対応や新しい企業経営に向けた活動が、積極的に行われています。

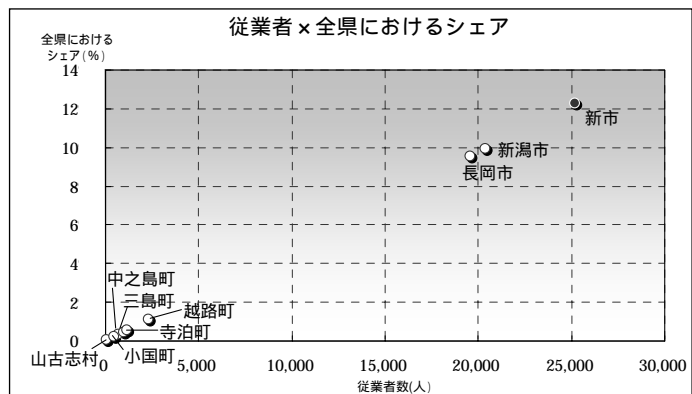
「長岡産業デザイン研究会」の活動風景



資料：平成14年 工業統計



資料：平成14年 工業統計



資料：平成14年 工業統計

**新市の都市競争力 :
人づくり・まちづくりから
都市の魅力を高める力**

地域の暮らしの視点からの発想は、
新市の人づくり・まちづくりにつな
がり、まちの魅力を高めます

**にぎわいのある魅力的なまちづくり
につながる、人づくりを進めています**

中心市街地では、商店経営を目指す意欲的な商業者の卵たちが、チャレンジショップ「リード・ブロー」で、周辺の先輩商店主からのアドバイスのもと、経営のノウハウを学びながら独立開業を目指しています。チャレンジショップを巣立った人たちによる個人的で魅力あるお店がまちなかに新しい風を吹き込んでいます。

**新市の商業ポテンシャルは、非常に
高い可能性を持っています**

新市の小売業1店舗当たり販売額及び小売吸引力は、全県において高い水準にあります。合併による一体的整備や商圈の広域化、小売吸引力の強化等、現在でも高い吸引力を示している長岡地域では、さらに求心力が高まる事が期待されます。

また、販売額構成比では、衣服や身の回り品といった身近な商品の割合が全国平均を上回っており、地域の小売業の特徴が表れています。

小売吸引力とは、その地域が他の地域から、どの程度購買力を吸引しているかを相対的に示す係数で、

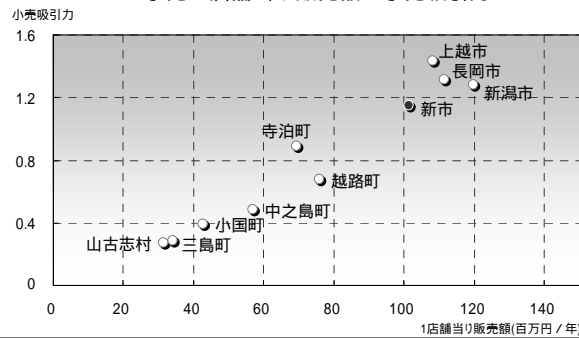
商業人口 > 行政人口の場合、1.0以上、
商業人口 < 行政人口の場合、1.0未満。

小売吸引力 = 市民1人当たりの販売額
/ 県民1人当たり販売額

中心市街地でのチャレンジショップ開店



小売1店舗当たり販売額と小売吸引力



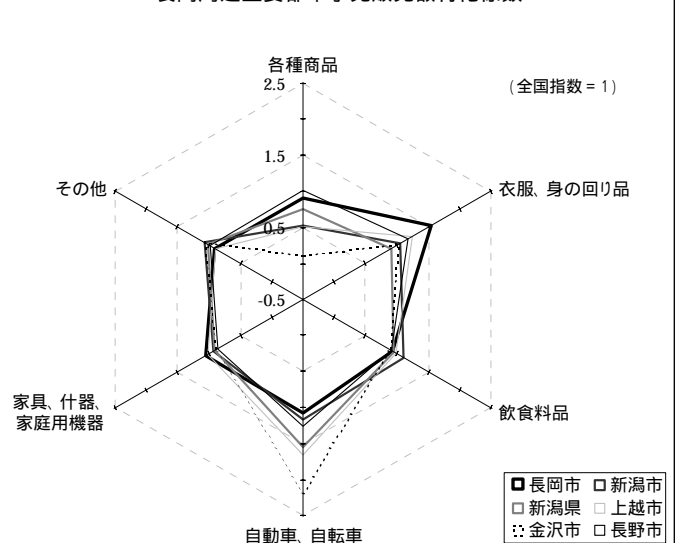
資料：平成14年 商業統計

年販売額(百万円) × 全県におけるシェア



資料：平成14年 商業統計

長岡周辺主要都市小売販売額特化係数



全国の分野別産業構成比を1とした場合の数値

資料：平成11年商業統計

新市の都市競争力：
地域の底力、米の生産力は
地域ブランドを後押しする力

新潟県を代表する農産物でもある米の生産力の高さは、ブランドを育てるパワーの源となっています

地域を代表する農産物は、人々の交流、観光や食品産業などの振興にもつながっています

自然豊かな田園景観や地域資源を活かしたグリーン・ツーリズム事業などにより、都市との交流が活発に行われ、体験交流による観光振興、農産物ブランド育成や食材PRにつながっています。

新市で収穫される米は、新潟県全体の消費量の約4ヵ月分です

新潟県を代表する農産物である米の粗生産額は新潟市を上回り、新市を構成する市町村のうち6町村で県平均を上回っています。

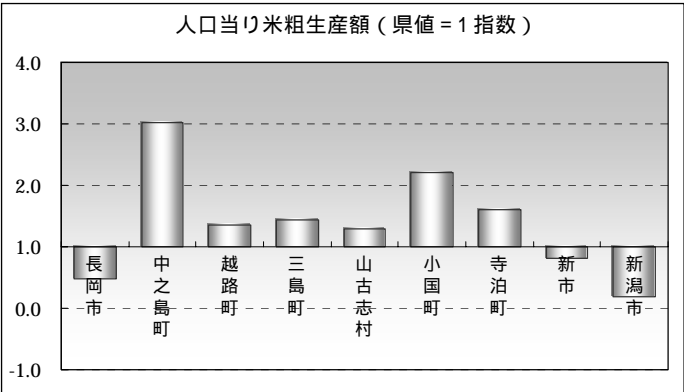
新市で収穫される米(水稻)の量は、1人当たりの年間消費量で換算すると、1年間に約86万人が消費する量に相当します。

米を中心とした産地力の高さは、地域の底力

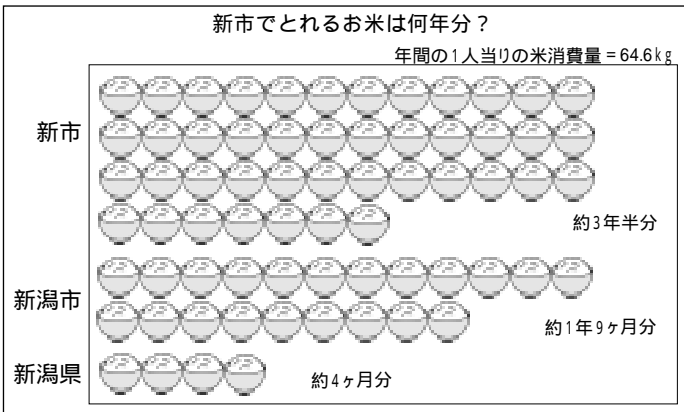
新市の農業粗生産額は、新潟市を上回り、1戸当たりの増減率でも新潟市を上回る地域があります。

また、一部のカントリーエレベーターでは、人工衛星によるタンパク含有量予測値をもとにサイロ別仕分けや、減農薬・減化学肥料の特別栽培米などの貯蔵ができ、米は地域の底力として、地域らしさ・ブランド力を育てていく力となっています。

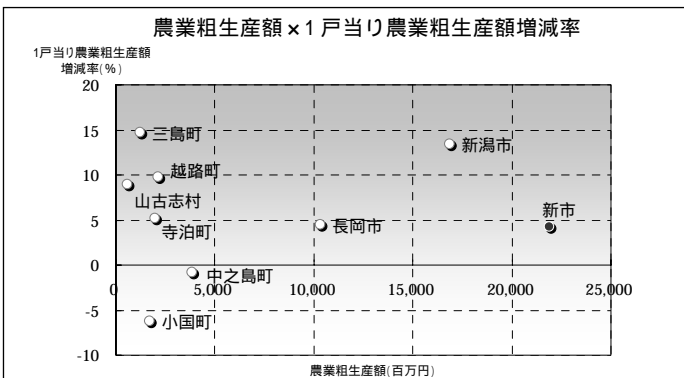
「グリーン・ツーリズム事業」で都市と農村の交流



資料：平成14年 農業産出額及び生産農業所得



資料：平成15年 水陸稲生産統計及び耕地面積統計(北陸農政局新潟統計情報事務所) 米麦データブック2002(食糧庁)



資料：平成10年、平成14年農業産出額及び生産農業所得

2. 新市の暮らしやすさ

**新市の暮らしやすさ：
人と自然にやさしい環境を
地域で守り育てる力**

都市の利便性と自然の恵みを受けた新市は、暮らしやすさを伝えていくことにも注目しています

汚水処理における環境に対するやさしさは全国・県平均以上、住民主導の取り組みも進んでいます

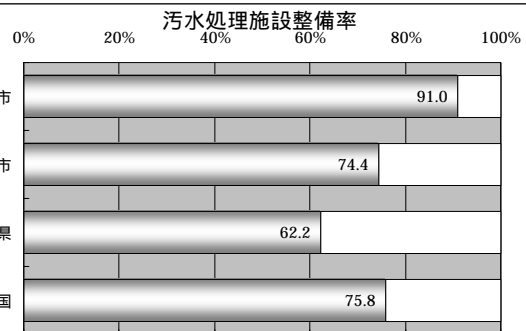
新市の環境に対するやさしさを見る指標の一つとして、汚水処理施設整備率をみると、全国や新潟県の平均を大きく上回っています。

さらに、NPO 法人「地域循環ネットワーク」等では、学校や保育園などから出される調理残さをボランティアで収集し、家畜の飼料として再利用するリサイクル活動を行うなど、循環型社会の構築に向けての活動が住民主導で行われています。

「犯罪」、「交通事故」で新潟県の平均を下回っています

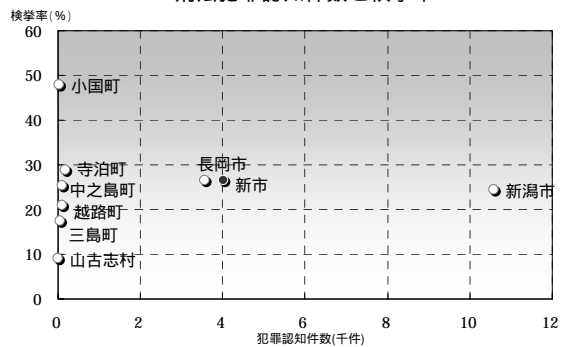
新市の住民の「安全・安心できる暮らし」を支えていく力を「犯罪」、「交通事故」という住民生活を脅かす出来事からみると、新市の「犯罪」発生の度合いはとても低く、住民が安心して暮らせる環境にあります。また、「交通事故」の発生度合いは、全国平均、新潟県平均を下回っており、安全で安心した住民の暮らしを守る力、支える力があるといえます。

NPOによる環境への取り組み



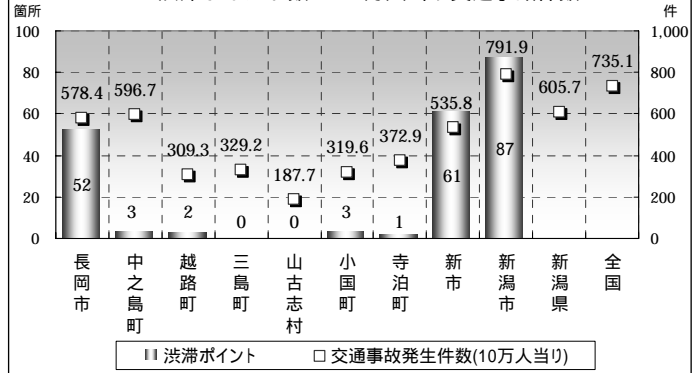
資料：平成 15 年版 新潟県統計データハンドブック
平成 14 年度 国土交通省、農水省、環境省提供
汚水処理施設整備事業とは、下水道、農・林・漁業集落排水施設、コミュニティ・プラント、その他集合処理施設及び合併処理浄化槽の処理人口の割合

刑法犯罪認知件数と検挙率



資料：新潟県統計年鑑
平成 12 年 新潟県の犯罪（新潟県警察本部）

渋滞ポイント数と10万人当り交通事故件数



資料：国土交通省北陸地方整備局提供
交通年鑑（新潟県警察本部）

3. 新市の人を育てる力

**新市の人を育てる力：
地域の暮らしを大切にして
地域の中で広げる力**

地域の視点を最大限に活かしているから、継続力のある活動が着実に根付いています

地域に根ざした住民主導の活動が特徴であり、強さです

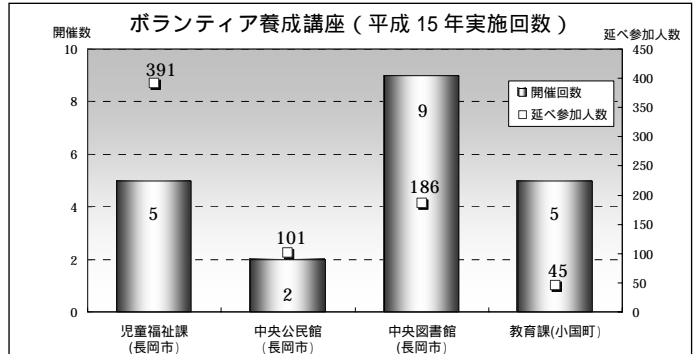
「咲かそう花を、育てよう緑を」をキャッチフレーズに、花と緑で住み良いまちづくりと心豊かな人材を育てる運動の輪は、年々広がっています。現在では、200もの市民ボランティアや緑化団体が公園や街路、また保育園、幼稚園、小・中学校、事業所の花壇に、約8万本の花を植えて管理しています。また、毎年5月には「花いっぱいフェア」も行っています。

住民自らが生涯教育を支え、人を育てることを重視しています

生涯教育を支える力となる、ボランティア養成講座の平成15年度実施回数は、長岡市、小国町において、計21回となっています。

行政出前講座を合わせると、年間で100回ものボランティア活動支援が行われています。新市では、こうした住民視点の地域に密着した活動が活発に行われています。

市民ボランティアによる「花いっぱい運動」



ボランティア養成講座の内容

市町村	主催	講座名
長岡市	児童福祉課	ファミリーサポートセンター会員養成講習会 サークルリーダー研修会
	中央公民館	ボランティア体験講座 紙芝居ボランティア講座
	中央図書館	読み聞かせボランティア養成講座
小国町	教育課	子育て支援ボランティア養成講座

行政出前講座の実施状況

市町村名	開始年度	平成15年実施回数	内容
長岡市	平成13	89	健康、子育て、生活、観光、産業、スポーツ、情報公開
小国町	平成12	10	伝統文化、福祉、くらしと下水道、パソコン

施設ボランティアの実施状況（平成15年度）

市町村	施設ボランティアの活用している施設と登録人数						合計人数	ボランティア養成講座	行政出前講座の実施回数
	公民館	図書館	体育館	博物館	青少年教育施設	その他			
長岡市	19	37			1	11	68	16	89
中之島町							0		
越路町	3						3		
三島町							0		
山古志村							0		
小国町		4					4	5	10
寺泊町							0		
新市	22	41	0	0	1	11	75	21	99

資料：長岡市・寺泊町合併協議会事務局調べ

4. 新市の交流する力

新市の交流する力：
豊かさと多様性の高い地域資源
交通利便性の高さによる拠点力

広域交通の利便性が高く、豊かで多様性の高い地域資源を最大限に活かせる環境があります

北陸において、新市は交通結節点、要衝としての位置づけが高い

関越道の長岡インターチェンジ、北陸道の中之島見附インターチェンジの出口取扱い台数は、他のインターチェンジと比較して高い状況にあります。

また、新市の各地域から高速道路インターチェンジへのアクセス時間をみると、約35分以内となっており、物流や観光活動などにおける広域交通の利便性は高い状況にあります。

四季折々の自然景観から、多様性の高い観光活動を提供しています

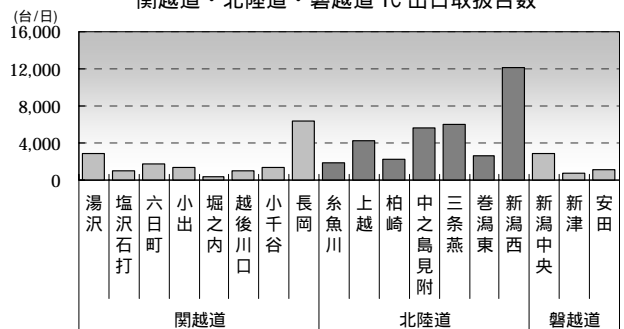
新市の観光入込み規模は、新潟市には及びませんが、近年では県外の訪問客が急速に伸びている地域もみられるなど、さまざまな地域特性や資源を活かした多様な観光活動を提供しています。

四季折々に美しい景観美を見せる棚田の風景は、日本景観学界現地研修会会場にも選ばれるなど、学術的な評価も高いものです。

学術的にも貴重な「棚田の景観」

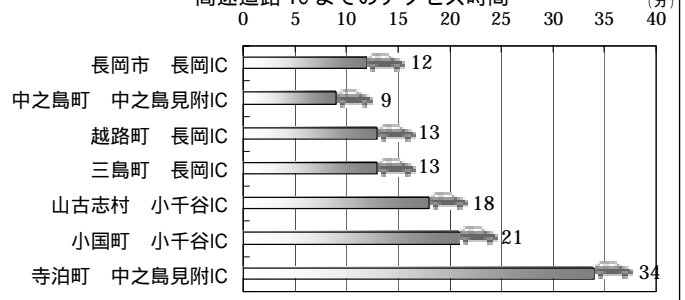


関越道・北陸道・磐越道 IC 出口取扱い台数



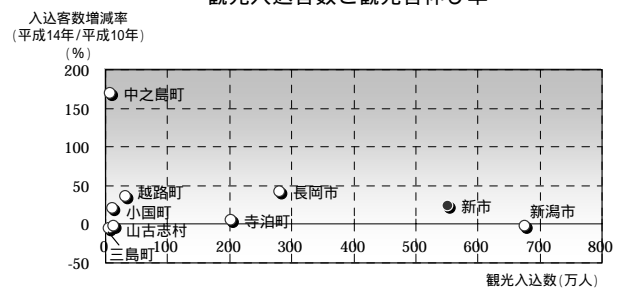
資料：平成15年 JH 新潟支社提供

高速道路 IC までのアクセス時間 (分)



資料：平成15年度 長岡地域振興計画

観光入込客数と観光客伸び率



県外観光入込客の推移

	県外観光客数(人)		増減率 (%)	県外客割合 (%)	
	平成10年	平成14年		平成10年	平成14年
長岡市	392,300	570,510	45.4	19.9	20.3
中之島町	360	4,930	1,269.4	1.4	7.3
越路町	111,340	75,780	31.9	46.7	23.5
三島町	9,410	9,120	3.1	16.1	16.5
山古志村	35,590	47,160	32.5	25.9	35.4
小国町	3,940	17,910	354.6	3.9	14.9
寺泊町	623,700	842,420	35.1	32.4	41.7
新市	1,176,640	1,567,830	33.2	26.4	28.4
新潟市	1,161,730	1,486,530	28.0	16.8	22.0
新潟県	32,329,750	29,791,590	7.9	41.2	39.5

資料：平成14年度 新潟県観光動態の概要

新市の交流する力：
人を育てる土壌と知恵を、
語り、伝えていく継続力

地域に伝わる知恵を語り伝えていく土壌は世代間交流につながり、地域に活力を育みます

地域に開かれた学校に代表される独自性の高い交流は、人を育てる土壌となっています

新市には、地域の人々が先生となり、自然や伝統文化などを教える総合学習を積極的に行っていく土壌があります。先人の知恵の重要性を理解し、次代を担う子どもたちへと継承していくことを大切にする心と仕組みが根付いているのです。

また、このような地域と学校が一体となった教育環境づくりは、世代間の交流も活発にしています。

新市では、他市町村からの流入は減少していますが、地域内の交流は増加傾向にあります

新市における通勤通学流動では、構成6町村から長岡市への通勤通学流入人数は増加する傾向にあり、地域内の交流が活発化していると推測されます。

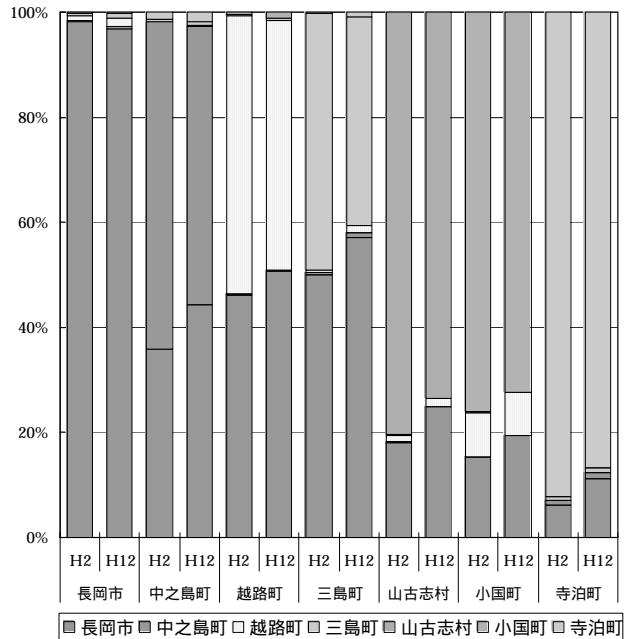
通勤通学圏域は、新市を構成する7市町村を越えて広がりを見せており、新潟県において、雇用や教育の受け皿としての位置づけの高さを表しています。

新市では、地域全体が一体になり、広域を対象とした事業や整備を進めることができることから、地域交流は今後一層の広がりを持つ可能性があります。

「地域に開かれた学校」は人を育てていく大切な財産

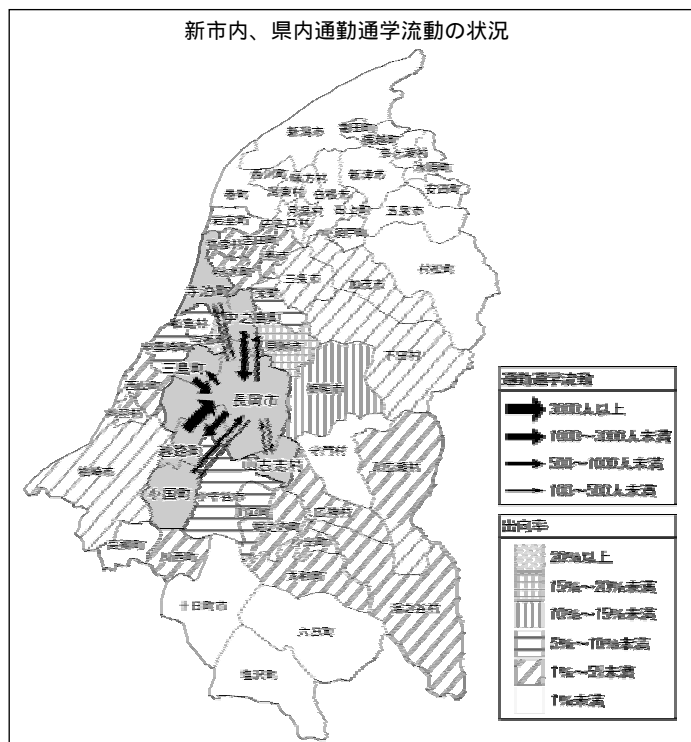


新市内の通勤通学流動の状況



資料：国勢調査

新市内、県内通勤通学流動の状況



資料：平成12年 国勢調査

新市の交流する力
地域から、世界まで
新しい視点は新しい力を生む

地域の人を育てる心とパワーが、
 生活圏の拡大に伴い、新しい次元
 へと向かっています

**新市になり、さらに国際交流の幅
 が広がります**

長岡市における国際交流は、主に青少年を対象に、姉妹都市・友好都市交流であるアメリカフォートワース市、ドイツリアー市・バンベルク市との間で訪問・受け入れ事業を実施してきました。昭和62年にフォートワース市との交流を開始して以来、延べ3,700人の市民が行き来し、教育、文化、スポーツと幅広い分野で交流を続けてきました。今後は、小国町の姉妹都市であるスイスロマンモティエ町との交流に加え、アジア諸国との交流も視野に入れて事業を展開します。また、新市における広域的な地域連携も深めながら受け入れ体制を整え、さらなる積極的な国際交流を推進します。

地域コミュニティの強さを活かした、全市的な活動への転換が期待されます

新市は、地域コミュニティの強さを持っていることもあり、市民活動の積極性がNPOなどの活動に現れにくいという実態があります。地域間交流が高まり、地域社会が広域化している中で、地域密着型のコミュニティ活動を基盤とした新市の市民活動は、活動範囲も内容もさらに幅を広げていく可能性があります。

小国町と友好関係にある武蔵野市から寄贈された貴重な本を収蔵している小国町愛蔵書センター

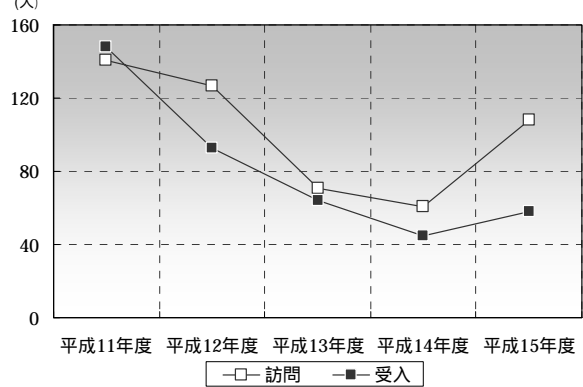


新市の「姉妹都市・友好都市」



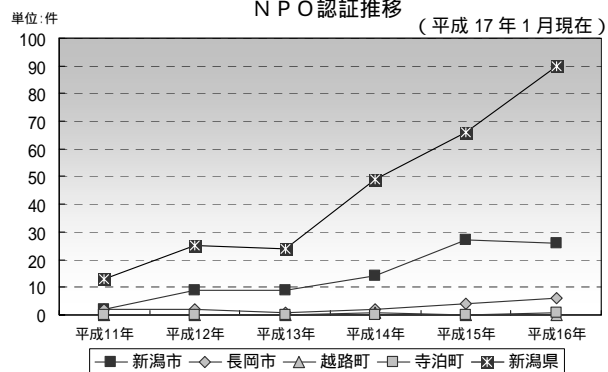
資料：長岡市・寺泊町合併協議会事務局調べ

姉妹都市・友好都市交流状況(訪問受入の推移)



資料：長岡市国際交流協会

NPO認証推移 (平成17年1月現在)



資料：内閣府 NPO 関連ホームページ資料

「寺泊地域の夢」検討の流れについて

「寺泊地域の夢」の検討は、長岡地域新市将来構想策定時の手法と策定プロセス（将来構想 P51、52 参照）を踏襲し、以下の内容と流れで進めました。

検討内容

地域の資源・素材などを残らずあげる
 他の地域の資源・素材などを知る
 地域らしさ価値実現に向けた地域の役割を考える
 地域の役割を果たすための地域別整備・活動方針を考える
 新市の重点実現項目と、地域別整備・活動方針から各地域の活動展開のあり方を検討する。

検討の流れ

ステップ 1

地域の歴史・風土・住民活動などの整理
 地域資源の洗い出し
 新市における地域資源の活用方法検討
 地域のまちづくりに対する思いの抽出・絞り込み

『新市地域らしさ価値』

ステップ 2

「新市地域らしさ価値」実現に向けての地域の役割検討
 訴求点（強み）の展開
 「新市地域らしさ価値」を高める＜地域の強み（CAN）＞
 ＜方向性＞と＜実現すべき事柄（WILL）＞の整理

『重点実現項目』

ステップ 3

地域別整備・活動方針の検討
 地域別整備・活動方針毎の活動展開検討

6市町村企画総計・合併担当ワーキングメンバーの意見

ステップ 4

「寺泊地域の夢」素案とりまとめ

第 2 回新市建設計画策定小委員会で審議・策定

寺泊地域の活動方針・展開

- 新市全体のありたい姿 - WANT

寺泊地域において

独創企業が生まれ育つ都市

～誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか～

を高める方向性

- ・人材や卓越した技術など、地域資源の発掘を通じたビジネスの開発
- ・マーケティング活動の促進や地域資源のネットワーク活用による産業のグローバル化の模索

- 実現すべき寺泊の姿 - WILL

寺泊地域整備・活動方針

海と歴史・文化に育まれた
技や知恵、産業（営み）の中に
新たなビジネスチャンス創造するまちづくり

- ・経済の側面だけではない、文化としての水産業（漁師）の「技や知恵」など、これまで省みられなかった地域資源を発掘し、ビジネスとしての展開に挑戦
- ・マーケティング活動の促進や新ながおか地域の他の資源とのネットワークなど、積極的な行動による地域基幹産業のグローバルな変革への推進

実現していくための活動・展開

見極める

地域の潜在資源を地域の人々と行政が協働で発掘する仕組みづくり
マーケティング活動も含め、寺泊地域外の企業者との交流など外部の意見を収集する活動を実施する

発信する

地域の産業の特色や内容を新ながおか地域全体及び県内外に広く発信する

育てる

地域の人々に対し地域資源の潜在的な可能性について理解を深めてもらい、一人ひとりの起業への発想力を育てる活動を行う

- 新市全体のありたい姿 - WANT

寺泊地域において

元気に満ちた米産地

～まごころ米の生まれる里・新ながおか～

を高める方向性

- ・農漁村地域の文化や伝統を守ることで「元気に満ちた米産地」を高める
- ・上記の実現による伝統的な農村漁村生活原体験を土台とした交流地域の形成

- 実現すべき寺泊の姿 - WILL

寺泊地域整備・活動方針

「満ち足りた生活原体験」を
未来に引き継ぐ
集落文化保存地域への挑戦

- ・野積や大河津の集落文化や寺泊の町人文化など、寺泊地域に内在する生活様式や言葉などの無形的な文化に注目した地域保存活動を推進することで、地域の固有価値を高める
- ・歴史環境や立地環境によって生まれ、かつ上記の活動によって形成された“懐の深い”集落風土や自然環境を活用・保全し、素朴で伝統的な集落生活の原体験を来訪者に提供する地域を目指す

実現していくための活動・展開

見極める

各集落地域がそれぞれの伝統文化を再評価し、情報化していく活動を実施する
地域の財産である景観や自然環境を保護する活動を推進する

発信する

無形的な文化（言葉・生活様式・食文化・景観など）の宝庫としての“寺泊”を情報発信する

育てる

既存の集客層を資源として、「集落生活体験」「自然環境保護」への理解を深める活動を促進する
体験・活動を提供するための受入体制づくり

- 活用したい地域資源 - CAN

集客力とネームバリューを獲得した水産業、観光産業の実績と可能性

「海の寺泊」ブランドを推進してきた地域力の実績

漁師の「仕事」「食文化」など、まだ知られていない地域に潜在するビジネス資源としての「技や知恵」

「釣り」「マリンスポーツ」などのレジャー・レクリエーション活動に潜在する情報・技・人材の活用

- 活用したい地域資源 - CAN

野積や郷本などの海辺集落に見られる独特の風土、風習（杜氏文化など）

歴史に培われた大河津や夏戸などの農村集落に見られる文化、特性（結束力など）

寺泊地域全体が形成するのんびり、のびのびとした「懐の深い空気」をつくる空間

・日本海の大海原

（美しい夕日、汐の香り、延々と続く砂浜、波の音、など）

・素朴な田園や海辺の風景

・毎夜続く蛙の合唱

・歴史の足跡（寺社仏閣、船絵馬など）

食材の宝庫 - 海の恵み、山の恵み

施設園芸の推進

- 新市全体のありたい姿 - WANT

寺泊地域において

世代がつながる安住都市

～ 未来人を育む資源博物館・新ながおか～

を高める方向性

- ・「世代がつながる安住都市」を実現するための人材育成の推進
- ・世代間の役割認識と分担を通じた世代交流によるまちづくりの推進

- 実現すべき寺泊の姿 - WILL

寺泊地域整備・活動方針

地域の歴史を希望と力に換えて
ゆとりとやさしさの寺泊人が推進する
世代共働のまちづくり

- ・自分を認めて他人を認めて行動できるゆとりとやさしさをもった人間形成に関する活動の推進
- ・自他を認めて成り立つ「役割」を地域間、世代間で共に考え、共働するまちづくりのあり方を模索

実現していくための活動・展開

見極める

家庭教育や保育所活動などを通じて、子どもの生活や子育てを支援する場や仕組みづくりを行う
地域間、世代間で議論を行っていくことのできる場や仕組みを構築する

発信する

「世代共働のまち・寺泊」に関する情報発信活動を行う

育てる

地域の人々が主役となって、地域間交流や世代間交流を円滑にする役割の「地域づくり推進組織」を育成する

- 新市全体のありたい姿 - WANT

寺泊地域において

世界をつなぐ和らぎ交流都市

～ 「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか～

を高める方向性

- ・新ながおか地域が初めて出会う地域資源
...海、海岸、漁村等の海辺文化の活用と連携
- ・日本海を通じた新たな交流地域の模索

- 実現すべき寺泊の姿 - WILL

寺泊地域整備・活動方針

日本海、佐渡ヶ島...、そして世界へ
新ながおかの新たな夢を広げる
現代の北前船交流拠点の構築

- ・水産業、観光産業に限らない海辺文化と農村文化を活用した交流体験地域の形成
- ・佐渡ヶ島などの海域を通じた新たな交流地域づくり
- ・他の地域の文化を吸収して、和らぎの交流文化を創造していく拠点づくり

実現していくための活動・展開

見極める

地域が持っている海辺や農村の文化を活用した交流体験の場や仕組み、プログラムの整備を行う
寺泊と交流する地域の文化などの情報収集を進め、寺泊地域の活動に活かす仕組みを構築する

発信する

海の玄関口として、新ながおかの地域情報を発信する
佐渡航路の拠点としての寺泊を発信する

育てる

地域が一体となったもてなしのこころを育成する
文化交流案内人と組織の育成

- 活用したい地域資源 - CAN

内陸の農村集落（大河津、本山、山ノ脇など）の結束力（“あんにやさ”の力）
野積集落の隠語文化など集落共有意識
地域住民の意思によって守られた集落固有の文化
ボランティアによる地域の美化活動（海岸清掃等）
寺泊地域全体が形成するのんびり、のびのびとした「懐の深い空気」をつくる景観
充実した老人福祉、小学生と高齢者の交流
「寺泊町地域づくり特別事業」試みの歴史
・5分科会（“地域文化”や“環境と福祉”など）に別れて地域住民で事業を計画し、実践した試みの歴史
当時としても先進的な取り組みに着手した地域力の実績
・上記の活動を通じてできた「ボランティア団体」によって、現在も花壇整備活動・ITを使った情報発信活動を行っている

- 活用したい地域資源 - CAN

北前船の寄港地としての歴史・文化地域、寺泊
・歴史の足跡（寺社仏閣、船絵馬など）
海辺、農村の多様な集落文化集積地
「海の寺泊」ブランドを構築してきた地域力の実績
寺泊の水産物販売の繁栄の原点
寺泊 - 赤泊航路の役割
寺泊の人々と佐渡との交流